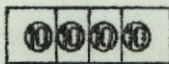
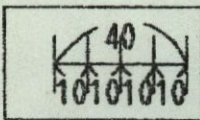
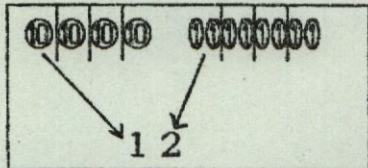
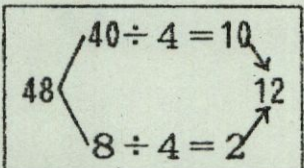


6. 本時の学習

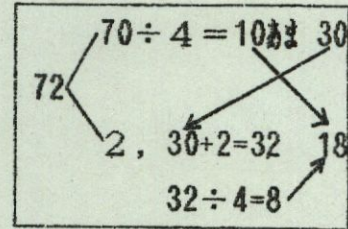
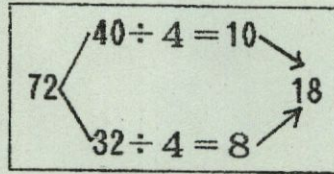
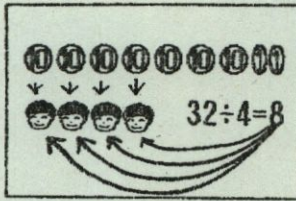
(1) 本時の目標

(2位数) ÷ (1位数) = (2位数) のわり算では、10をもとにして考えていくと便利なことに気づく。

(2) 本時の展開

	教師のはたらきかけ	児童の活動
と	・ 前時とのつながりから、本時の課題を問いかける。	・ 本時の課題を確かめる。
ら	(何十、何十何) ÷ (何) のわり算で答えが9より大きくなる時の答えの求め方を考えよう。	
え	・ 本時の問題を提示する。	
る	□ まいのカードを4人で同じ数ずつ分けると、1人分は何まいになるでしょう。	
表	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">□</div> <div style="font-size: 2em;">{</div> <div style="margin-left: 10px;"> <p>① 40</p> <p>② 48</p> <p>③ 72</p> </div> </div> <p>・ それぞれ立式させる。</p> <p>・ ①から順に求め方をシートにかかせる。</p> <p>・ 相談コーナーで個人指導する。</p>	<p>・ 立式する</p> <p>① $40 \div 4$</p> <p>② $48 \div 4$</p> <p>③ $72 \div 4$</p> <p>・ ①から順に、図、数字、言葉などでシートに自分なりの求め方をかく。</p>
す	<p>① $40 \div 4$</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>40は10のかたまり 4つ分だから $40 \div 4 = 10$</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>$40 \div 4$ = 9あまり4 $4 \div 4 = 1$ $9 + 1 = 10$</p> </div> </div>	
	<p>② $48 \div 4$</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>$48 \div 4$ = 9あまり12 $12 \div 4 = 3$ $9 + 3 = 12$</p> </div> </div>	筆算

③ $72 \div 4$



表

筆算

す

- ・ ①の求め方を発表させる。
- ・ ②の求め方を発表させる。
- ・ ③の求め方を発表させる。

- ・ ①は、⑩のかたまりをもとにして計算（考える）するとよいことに気づく。
- ・ ②は、十の位と一の位に分けて計算（考える）するとよいことに気づく。
- ・ ③は、十の位を分けて計算（考える）するとよさそうだということに気づく。

く

- ・ ①②③の求め方を比較させる。

- ・ ①②③の類似点をまとめる。

ら

べ

（何十、何十何）÷（何）のわり算で答えが9より大きくなる時は、10をもとにして考えるとよさそうだ。

る

- ・ ③と①②の求め方を比較させる。

- ・ ③と①②とのちがいを明らかにする。

深

- ・ 次時の課題を確認させる。

め

$72 \div 4$ の計算のよりよいやり方を考えよう。

る

- ・ 次時の課題を確認する。
- ・ 筆算も使えそうだ。